



2017-2018年度

RI会長

イアン H.S. ライズリー

RIテーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 佐々木千佳子 会長 ● 小金平育男 幹事 ● 久保隆明 SAA ● 大崎光明

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<http://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30開会

5月 青少年奉仕月間

vol. 42

第 2316 回例会

2018.5.22

司会：吉田悦子副SAA

- ・ RIテーマ
- 点鐘
- ・ ロータリーソング
- ・ クラブソング
- ・ 4つのテスト

ビジターの紹介

八戸東RC 北向 幸吉君

会長要件

小金平育男会長

目についたニュースで、先日、若者の車離れについてお話ししましたが、その関連で、会社に入ってから免許をとるように言われ、自動車学校に通う場合の費用負担についてもめ事があったという話です。そもそも免許を持っていない人の割合が増えているということです。就職の内定を貰ってから入社前にあわてて自動車学校に通う方もいます。国土交通省の資料によると運転免許を持っている20代の割合、2006年85%、これが2011年は81%と下がっています。特に都市部の保有率が下がっているということで、東京都の場合は2011年63%になっています。車も免許もいらぬという合理的な考え方だなと思います。ただ地方では免許が無いと大変ですね。実際に資格をとる費用は、採用済みとなると自己負担か会社負担かで揉め事になると。実際は会社によってまちまちで、入社する会社の仕組み次第だとある弁護士が話していました。凡例では、タクシーは2種免許ですが特殊な資格は個人の財産でもあるので会社側の勝訴でした。会社の仕組みをきちんとしておかなければいけないと考えさせられました。

幹事報告

久保隆明幹事

◎2018-19年度インターアクト年次大会のご案内
7月21日(土)、22日(日) 八戸シーガルビューホテル
ホスト校 八戸工業大学第二高等学校
インターアクトクラブ
提唱クラブ 八戸ロータリークラブ

- ◎来週の火曜日、臨時理事会
- ◎八戸中央RC懇親ゴルフコンペ開催
6月11日(月) 八戸カントリークラブ
表彰式 コンペルーム

親睦委員会報告

大沼 衛会員

ニコニコBOX

八戸東RC

北向 幸吉様：早退失礼いたします。

八戸北RC

児玉禎之会員：遅刻、早退。

米山記念奨学会

大沼 衛会員：

ポリオ・プラス

大沼 衛会員：

澤口忠彦会員：

出席報告

本日の出席率	64.86%
前々回の修正出席率	71.05%

地区研修・協議会報告

会長幹事会計部門

佐々木悦郎会員



会長幹事会計部門、その他の報告を致します。参加人数は78名、北クラブからは10名の参加でした。

まずは次年度のバリー・ラシンRI会長のテーマは「Be the inspiration: インスピレーションになろう」です。それを受けて、今井ガバナーエレクトは「ロータリーの素晴らしさを伝えよう」と地区方針に掲げました。「インスピレーションになろう」とは解釈もいろいろで、日本語訳で「刺激やきっかけになろう」ということから「ロータリーの素晴らしさを伝えよう」ということを提唱するそうです。具体的には、勧誘するために、新会員が早期退会しないために、世間に認知してもらうために、会員同士学び合うために、色々な場面

や状況で、ロータリーの素晴らしさを伝えよう、という内容です。

次年度の目標は、公共イメージの向上（年に1回ロータリーデーの開催）、会員増強（特に40歳未満の若者と女性）、地区補助金の全クラブ申請・グローバル補助金のクラブ申請（地区補助金は40クラブ中31クラブ）、新クラブの設立、メーキャップの推進（新人ロータリアン（入会3年未満）のメーキャップ料を地区で負担）、ローターアクトクラブの新設と会員倍増（むつに新設）、ロータリー財団の寄付（一人当たり年次基金150ドル、ポリオ・プラス30ドル）、米山奨学金の特別寄付（一人当たり2万円）、MyRotaryの登録、戦略計画委員会の設立、等です。ロータリーデーに関しては各クラブ単位ではなく、まとめて、グループ等でPRする機会を持つと有り難いと仰っていました。テーマの一つとしてポリオの映画も作成されたそうで自主上映なども検討されてはどうかと仰っていました。

次に基調講演、RIロータリー公共イメージコーディネーターの鈴木秀憲氏が「ロータリーの公共イメージの向上について」講演してくださいました。分かり易い言葉で伝えましょうということで、ロータリーの目的を分かり易くどう伝えるか、四つの綱領を短くして、ロータリーとは何か、「自分自身と自分の職業を磨きながら地域や国際社会に奉仕する団体です。あなたも参加しませんか」と簡単にまとめた2570地区の例を紹介してくださいました。この方はバス会社を運営していて、バスに貼ってPRしたそうです。昔は奉仕活動を大っぴらに話さないことを美德としていたが、今は人道的奉仕を加速するためにどんどんPRしていきましょう。と仰っていました。

会長幹事会では原案通り可決されました。地区賦課金を元に戻す（20,000円から25,000円に）、地区研修協議会は30万以内から戻した、等といった内容になっていました。予算案、地区規定の変更も承認されました。

あと話し合ったものは、ガバナー事務所の固定化、ガバナー事務所・エレクト事務所の合同化・固定化により経費削減を図るということです。人数が多い所にはサテライト的なものが必要ではないかという意見もありました。

地区大会は9月28、29、30日、名刺サイズのPRもされていました。

社会奉仕・職業奉仕部門 小金平育男会長

五所川原RCの花田勝彦さんがリーダーで進めています、五所川原RCの活動を参考にしていました。

職業奉仕委員会では、五所川原RCは毎月一回4つのテストを唱和している。当クラブは毎回ですが月1回、2回というクラブが結構ありました。毎月、



最終例会に過去形の4つのテストをしているクラブもありました。職業奉仕フォーラムを開催しているクラブは職業分類の見直しを年に1回しているということでした。クラブによって分類がまちまちですね。

その他、地区の奉仕セミナーとして、じょっぱり経済学が開催されていますが、15回15人の講師を探すのに苦労しているようです。最初は百何十名が講義に参加していたのが今は半分ぐらいになったそうです。

職業奉仕について、他のクラブではロータリー以外の異業種の方を例会に招待しているそうです。中学生を呼んだり、会員事業所の見学をやっているようです。NHKの職員が会員に入っている所はNHKを見学したり、広報に入るかも知れませんがそういう方がいるといいなと思いました。会員の知り合いの業者の職場訪問とかもありました。次年度職業奉仕委員会として参考にしていきたいと思います。

社会奉仕・職業奉仕の区別は、奉仕の従事者がロータリアン以外の場合は社会奉仕、ロータリアンの場合は職業奉仕という区別ではどうかというお話ができていました。そう考えると分かり易いかなと思いました。

新会員部門

久保隆明幹事



新会員ではないのですが、お手伝いで参加してきました。

新入会員部門は、ロータリーとは何かを再復習するような会でした。

3年未満の会員が集まってどういった社会奉仕活動をしているか発表していました。多いのはゴミ拾い活動でした。

今井年度の国際大会はドイツ、ハンブルクで行なわれます。5月31日～6月4日までの日程です。次の沼田年度の国際大会はハワイで、その次の源新年度は台湾です。

私はRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）という地区の委員会に所属していて、11月10日(土)、11日(日)に研修会が行なわれますので、ご参加頂ければと思います。

認証バナー・感謝状

小金平育男会長



・ End Polio 感謝状

1500ドル以上寄付したクラブに贈られるもの

・ 「Every Rotarian, Every Year」 認証バナー

年次基金平均寄付額100ドルに達しているクラブ

・ 100%ロータリー財団寄付クラブ認証バナー

一人当たり平均100ドルに達しているクラブ

点鐘

（誤字脱字がございましたらご容赦ください）